

## 平成17年度人権啓発標語

人権擁護啓発標語を市内の小学6年生・中学2年生を対象に募集したところ、小学生532点、中学生574点の応募がありました。審査の結果、次のとおり特選作品が決まりました。

小学生の部 田鶴浜小学校6年 角中 聡美

「はじめよう 差別じゃなくて 助けあい」

中学生の部 香島中学校2年 赤坂 美春

「思いやる 心一つで 変わる社会」

(敬称略)

## 人権擁護委員はあなたのまちの相談員

こんなとき一人で悩まず相談を…。

- ・学校やクラブ活動でいじめ・リンチ・体罰などを受けたとき
- ・老人や子どもが虐待されているとき
- ・不当に仲間はずれにされたり、不当な差別を受けたとき
- ・インターネットで誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現等を掲載されたとき
- ・その他、人権が侵害されていると思われるとき

### 人権相談窓口

○男女参画まちづくり課 ☎53-11112

・毎月第1〜第4水曜日 13:00〜15:00

本庁 市民相談室

・毎月第2水曜日 13:00〜15:00

さつき苑、中島支所 おにゆりの里

○金沢地方事務局七尾支局 ☎53-1720

・月曜日から金曜日まで

\*相談は無料で秘密は固く守られます。



人権イメージキャラクター  
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

を出す数が多いからでしょうか。でも、ホテルに滞在しても、ウエルカムスイーツ、エステの割引など女性のほうが得をすることが多いような気がします。欧米ではこういう特別扱いはほぼ禁じられています、特に性によって差を付けるのは男女平等に違反だけではなく人権違反とされています。結局、女性優遇の各種のキャンペーンは結果的には新しい形の差別なのかもしれません。年齢や性別などによって区別しすぎると最終的に不平等を生んでしまうのではないのでしょうか。

### ミチコ

今朝、あなたにお茶を入れてくれたのは誰ですか？と聞くとほとんどの人が女性を思い浮かべると思いますが、日本社会、特に田舎では性の役割がよりはっきりしていると思います。これは、男性と女性が根本的に違うと考えている人たちが、「男らしさ」や「女らしさ」を求めることは決して悪くないと思っているからです。西洋社会では男性も女性も根本的に違いは少なく、「男らしさ・女らしさ」は社会が勝手に生んだ着想と考えている人がほとんどです。どちらが正解とは言い切れないことですが、社会が促進すべき考えは、老若男女国民のみんなが心地よく暮らせる社会を創るということだと思います。お転婆娘や大和撫子、おしとやかな男性や凛々しい男性など、色々な人々みんなが輝ける社会が素敵だと思います。

## 新 七尾体験記 番外編

### 性別or 差別？



### ファーガス

日本ではガソリンスタンド、映画館、居酒屋、ボウリング場、ホテルなどで「レディース・デイ」または「女性限定」という看板をよく見ます。どうも女性のほうが得をするようにできているような気がします。女性が様々な特別扱い方をされる機会が多いのはなぜでしょうか。女性の方は喜んでいると思いますが、男女平等を目指す社会にとっては少し変かもしれません。例えば、これらの様々な恩典が男性に適用されない理由は何でしょうか。男性の方が女性より映画を楽しむからでしょうか。ボウリングをしたらストライク